



おかやま連町だより

題字 兼松久和

第6号

発行/岡山市連合町内会・平成16年3月



西大寺会陽 宝木投下の瞬間

写真提供/写団 柿の実

七年の回顧と 当面の課題

岡山市連合町内会
会長 兼松 久和

春陽の候、町内会長各位におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、其々の地縁による団体において地域的な共同活動に尽瘁され良好な地域社会の維持及び形成に向けて縦横滅私のご活躍をいただき地域社会の安寧が保たれております。皆様方のご労苦に対し敬意を表しますとともに深甚なる感謝の意を表する次第であります。

また、岡山市連合町内会の事業活動の推進につきましても直接、間接とを問わずご理解とご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

さて“おかやま連町だより”も開かれた連合町内会の広報活動の一環として平成11年3月創刊以来、このたび第六号を発行する運びとなりました。

今回は、小生が岡山市連合町

内会会長就任以来七年の回顧と当面の諸課題について考察して参りたいと思います。

《岡山市連合町内会》関係

① 新春に開催される岡山市政報告会における市長との懇談会（市長と連町との交流は随時）及び岡山市局長・参与級との懇談会の設置。

② 岡山市六ブロック毎の知事と学区（地区）連合町内会長との懇談会の設置。

③ 岡山商工会議所正副会頭等と常任理事会構成員等との定期的懇談会の設置及び岡山市連合婦人会役員との懇談会の設置。

④ 一小学校区二連町制度への移行
平成15年度には西大寺地区で八地区・足守地区で一地区の連合町内会が統合されました。平成16年度から牧山が牧石学区へ統合されます。中心市街地については、当分の間現状維持とします。

⑤ 役職役員候補者の選出について（平成15年度から適用）

会長候補者の選出については、全理事三十三名（中学校区代表）による無記名投票。副会長、常



平成15年3月「花づくり講習会」の様子(岡山市内)

技が実施されます。

また、国体終了後の平成17年11月5日(土)～7日(月)の期間で、第五回全国障害者スポーツ大会「輝いて！おかやま大会」も開催されます。この全国障害者スポーツ大会は、国内最大の障害者スポーツの祭典で、岡山では初めての開催となります。

岡山市では、夏季大会で四競

として、多くの文化芸術関係の行事も実施予定となっております。現在、それぞれの競技において、優勝すなわち天皇杯・皇后杯の獲得を目指し、競技力の向上に向けた取り組みが精力的に行われています。

しかし、「国体」は、単純に順位を競い合うだけの大会ではなく、郷土をあげて選手・監督な

技、秋季大会で七競技の合計十一競技が、そして

全国障害者スポーツ大会においても七競技と、多くの競技が実施されます。その他、得点種目ではありませんが、デモンストレーションとしてのスポーツ行事として「武術太極拳」や「日本拳法」の大会も開催予定で、さらには、「スポーツ芸術」

どをお迎えするところにその特徴や存在意義があります。

このようなことから、この「晴れの国おかやま国体」「輝いて！おかやま大会」を市民運動の力で盛り上げていこうと、岡山市連合町内会をはじめとする約六〇の団体により、平成14年8月に「岡山市民運動推進協議会」が設立されました。

この推進協議会の目標は「市民総参加」で、国体・全国障害者スポーツ大会の本番もさることながら、本年開催される国体のリハール大会(平成16年6月～11月で実施)も視野に入れて、現在、市民運動の組織づくりを進めています。

具体的には今後、「競技会運営での補助スタッフとしての参加」「競技会場の花のプランターやのぼり旗での装飾参加」「競技会場周辺の清掃参加」「民泊協力」などを市民運動として、地域の皆様にご協力いただきながら推進していきたい、来岡される選手・監督などを温かくお迎えすることができればと考えております。

特に「民泊」への協力については、

国体秋季大会で岡山市内の宿泊施設が不足するため、その対応に苦慮している状況にあります。「民泊」では、県総合グラウンド、浦安総合公園で開催する競技を対象とし、約千人の選手・監督の受け入れを想定しています。受け入れ先の対象としては、競技会場周辺の四十の小学校区を対象としており、現在、民泊協会の組織を立ち上げていただくよう、各

学区別に説明会を開催し、地域の皆様のご理解を賜っていただく所です。「民泊」の実施は、市民のまごころのこもったおもてなしで、大会参加者に深い感動を与え岡山市を全国にPRする絶好の機会として捉えています。



平成15年「NEWわかふじ国体」藤枝市での岡山県剣道(少年)の受け入れの様子

また、地元での受け入れチームを会場に行つて応援していただくことで、大会に活力を与え、選手達の活躍の励みになるものと思っております。「晴れの国おかやま国体」「輝いて！おかやま大会」における市民運動の展開につきましては、地域の皆様にご多大なご協力をいただいているところであり、想い出に残る大会となるよう、今後とも皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

わがまち岡南学区の歩み

岡南学区連合町内会
会長 大隅 清治

岡南学区は、岡山市の南に位置し、昭和30年代までは、農村地帯でしたが、国道三十号線・二号線バイパス等の開通により、外食産業をはじめ郊外型店舗並びにワンルームマンションが数多く建てられ、中心には総合病院岡山赤十字病院や大手スーパーもあり、自動車の往来も多く、将来益々の発展が予想される地区でございます。

岡南学区連合町内会は、十七町内会で現在、世帯数は七千四百三十九世帯、人口は二万五千二百二十八人、男性が七千三百七十人、女性が七千八百五十八人です。六十五歳以上の高齢者は、二千五百六十八人で男性が千十六人、女性が千五百五十二人で、高齢化率は約十六・八パーセントで全国の平均に近いのではないかと思います。2003年7月26日には岡

山市で、三十二番目の岡輝公民館が完成し、岡南地区社会福祉協議会により、ふれあい給食十周年記念式典を10月2日に、また岡南地区の皆様による作品展を10月2日から10月5日まで実施いたしました。四日間て延べ四百四十七人に岡輝公民館へご来場いただきました。また、平成14年度から岡輝中学校が文部科学省指定校になり、岡輝地区の場合清輝小学校・岡南小学校・岡南幼稚園・清輝保育園・岡南保育園・六校園による「新しいタ イプの学校運営のあり方に関する実践研究校」に指定され、現在も研究を続けているところです。また、2003年9月には、全国ではじめてのシニア・スクールを開校し、いま脚光を浴びている有名な学区でございます。

地域の和を広めよう

財田学区連合町内会
会長 岡 正義

東には芥子山あり、その西側に南西に延びた外環状線が走り、それを挟んで下町内会、長利町

内会があります。東側にこの度、第七十六回選抜出場の城東高校があり、その東に古都学区が接し、六甘交差点の東西に旧二号線が、財田地区中央に通り、両側には各種商社商店が並び、北側には山陽本線、新幹線が東西に走り、その北側には、竜之口学区があります。東岡山駅を擁して長岡町内会があり、昔は中心として栄えてきた所です。今、駅前開発道路工事が順次進んでいるところです。

南には米田町内会があり、神下町内会を挟んで西より東南に百間川があり、今では、改修事業も終わり河川敷は各種スポーツの場となり、憩いの場となっております。

ただ、外環状線の六甘の所から竜之口への隧道工事の一日も早い完成を待ち望んでいるところです。西にはマンモスの幡多小学校と竜操中学校があります。どの地域も子供の教育について、財田小学校校歌に「旭日昇る芥子山平和の鐘の鳴るところ」と謳われている様にみんな智慧を出し合つて、地域住民共々問題点を

探り、教育懇談会を設けて先生方、各種団体等と共に教育推進上の問題に取り組んでいます。

また、2月の終わりには、「財田いきいき春舞台」と銘打つて、それぞれの習い事を集め、体育館の舞台で文化交流を実施しています。今は、我々地域の活性化に一生懸命努力しています。そうして地域の和が、二層広まってい

西大寺の合併の歴史と地域の活性化について

西大寺学区連合町内会
会長 森本 享

会陽(裸祭り)に象徴されるわが町「西大寺」ではあるが、合併の歴史も多く、古くは慶長11年(1606年)の検地帳に西大寺の文字を見ることが出来ます。江戸時代の終わりまで西大寺村が使用され、明治に入ってもそのままの呼び名が続きました。明治22年(1889年)町村制の施行と共に「西大寺村」が正式呼称となり、明治29年町制が施行され「西大寺町」となり、昭和12

年金岡村、昭和15年芳野村の合併により、町域が拡大しました。昭和28年、近隣との合併により、

「西大寺市」となり、昭和の大合併と言われる昭和44年に、「岡山市」と「西大寺市」の合併で「岡山市西大寺」となり町名としての西大寺は消滅しました。岡山市との合併と同時に西大寺市連合町内会も岡山市連合町内会の一員となりました。当時は一小学校に複数の地区連合町内会の組織が残っていました。平成8年度、西大寺地区連合町内会長二名を一名にし、平成15年4月より、一小学校区二連合町内会にしました。西大寺は吉井川の高瀬舟で有名な舟運に恵まれ、特に五百年も続いている天下の三大奇祭の一つと呼ばれ、全国にその名の聞こえた裸祭り会陽があります。このことが却つて名声の上に胡座をかいて他の事に目を逸らしてしまつて考えようとしなかったのではないかと思われま

寺の町民は長い間、赤穂線の開通を宿望してきましたが、やっと全線が開通(昭和37年9月)した時にはもうモーターゼーションの時代になっていたのではないのでしょうか？

西大寺地区(岡山市役所西大寺支所管内)は岡山市の東の玄関口であり、かつては東備地域の中心地として栄えておりましたが、諸々の事情も重なり街の活力が低下しており、地区の活性化は緊急課題であると感じております。そうした中、西大寺地区内の中心部に残された貴重な大規模遊休地であり、既成市街地再生の起爆剤として期待されているカネボウ跡地の活用についての提言書も出され、西大寺地区活性化の気運も、盛り上がりつつ来ております。カネボウ跡地の活用について先日、西大寺支所管内十三学区連合町内会長連名で早期実現を要望したところであります。

今後も各種団体と連携を密にして地域に根付いた活動をしたいと思っております。

住み良い環境作りを 目指して

平福学区連合町内会
会長 高知 秀吉

私たちが住む平福学区は、旭川河口西岸に位置し、東は旭川堤防沿いに、西は人絹道路沿いに、東西に短く南北に長い郊外型住宅地と、南に広がる大手企業の住宅群とが混在する、比較的新しく静かな落ち着いた地域です。

昭和50年福浜・福島両学区より分離統合により発足、平成15年10月現在の学区構成は、八町内会・三千八百九十七世帯・人口二万八十三人となっております。

発足当時は、広く農地があり、学区内には小学校の三階建校舎が目立つ程度でしたが、以後、近くに保育園・幼稚園が相次いで出来たことと、岡山市内中心部への交通の便も良いことも重なり、宅地化が急速に進み、現在は農地もほとんど見られなくなりつつあります。

学区の各種団体の活動も活発で、
○各種女性活動・介護・敬老・老人福祉等に：婦人会・愛育委員

会・老人クラブ等が。

○青少年健全育成等に：体協・幼小中PTA・補導協が。

○乳幼児・小児活動援助等に：子育て広場・仲よし会等が。

そして、後方で連町会・社協・保導協等がバックアップしています。

今年平福学区も、いよいよ発足三十周年を迎えます。

平福小学校創立三十周年記念式をはじめ、学区諸団体もこれを一つの節目として各行事を企画中です。

学区念願のコミュニティハウスも市当局の厚意により目下建設中で、平成16年3月完成予定です。

明るく住み良いまちづくりを目指し、更なる努力に務めたいと思っております。

興除学区の今昔

興除学区連合町内会
会長 藤井 英美

当連合町内会では、地域住民の小さい子どもから老人まで全員がなごやかで、やさしい和のある地域づくりを目指して頑張っています。

当地域は、今から約百八十数

年前に干拓された土地であり、先人たちが当初は塩害等に悩まされながら綿花をはじめ種々の作物を栽培しながら、現在の主体生産物である米・麦(ビール麦)の生産に至っておりますが、現状では農政の厳しい生産調整に苦慮しています。

また、戦後は干拓地の広大な農地からいち早く機械化に取り組み機械化農村日本一となり、現在の機械化による農業経営の基礎作りに大きく寄与した地域です。

そして、現在は社会情勢の変化に伴い一部は住宅化が進み、車社会の発展に伴い地域内にも主要県道二十一号線(岡山〜児島線)が通り、そ

のバイパス工事も進んでおり、早期開通が期待されるところです。

こうした中、地域も徐々に変化している現状ですが、当連合町内会の区域は、興除地区の中心であり、岡山市の興除支所をはじめ小学校・中学校・公民館



フェスティバル in KŌJO

等の主要施設があります。

そうした中、中学校には地域活動部があり、生徒たちが地域の種々の催し物に積極的に参加し、住民とのコミュニケーションを図り、また、全校行事として、地域感謝デーを設けて、年に数回は地域内の清掃奉仕等を行い住民とのつながりを大切にしていきます。

一方、小学校でも地域とのつながりを大切に考えて、子ども達の米作り(田植えから刈取まで)をはじめ収穫祭と称して親子三代のグラウンドゴルフ・食事会(子どもたちの作った米で)そして夏には鮎釣り大会、冬には地域とのふれあい活動(学年別)等行っています。

また、町内会も昔からの伝統行事である稲作の虫追い祭り・そして三学区連合の興除地区の最大イベントである「フェスティバル in K O J O」を毎年開催しています。

これからも色々な催しを通じて、学校等とも連携しながらふれあいを大切にして、人間関係

を育て住みよい地域づくりを目指したいと考えています。

岡山国体主会場の 伊島学区

伊島学区連合町内会
会長 高原 久幸

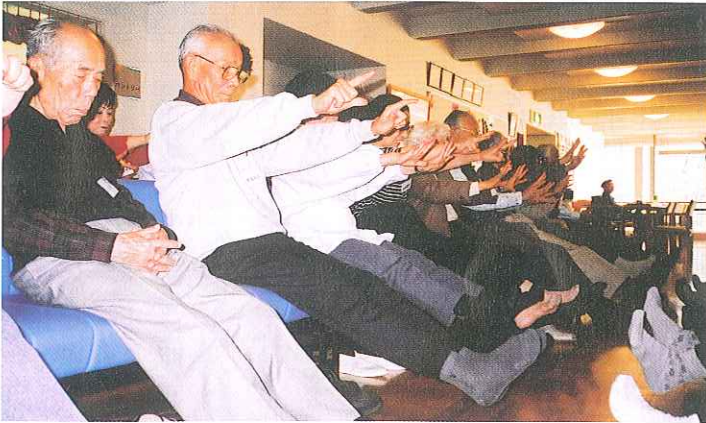
伊島学区連合町内会は、昭和36年にスタートしました。

平成15年6月末の町内会は二十一組織あり、加入世帯数は四千九百七十七世帯で、人口は二万二千四百九十八人です。

国体主会場である、県総合グラウンドに位置する学区です。

石井知事の決断で桃太郎スタジアムが落成し、新体育館も建設中です。うれしいことです。交通渋滞対策、安全対策の要望が住民から出されています。市、県、警察の皆さんよろしくたのみます。

地区の社協が燃えています。七十歳以上の独居老人へのふれあい給食、ふれあい会食、元気の出る会、伊島



元気の出る会(ライフケアセンター)

小学校の夕焼け学級と大人の交流などです。婦人会の皆さんが、ものすごく頑張っています。

平成15年6月から万成町にできた、淳風ライフケアポート旭ヶ丘での岡山市在宅介護支援センター事業がスタートしました。

コミュニティ協議会は、平成15年11月に創立二十周年の記念行事を行いました。

平成15年11月7日の京山中学校創立三十周年行事に引き続き、平成16年10月には伊島小

学校創立百三十周年の記念行事を予定しています。

体育協会は第五十三回体育祭を行い、スポーツ少年団は、たくさんのボランティア指導員先生の支えの中でファイティンばいず。

萩原市長には、伊島学区の諸問題の解決に熱い期待をかけています。

伊島学区あげて元気の出る岡山づくりに新しい一歩を踏み出したいと思っています。

岡山市連合 町内会の動き

◎岡山市連合町内会定期総会
(平成15年5月28日)

(一)平成14年度事業報告並びに決算の承認。

(二)役員承認。

(三)平成15年度事業計画並びに予算承認。

◎岡山市連合町内会研修視察
(平成15年10月8日～9日)

会員五十九名が桑名市自治会連合会を訪問し、住民自治の活動状況等について研修をしました。

日本三大祭りの一つである秋の高山祭りを見聞し、見識を深めた。

◎常任理事会構成員による研修視察(平成16年2月9日～10日)

役員十一名が、鳥取市自治会連合会を訪問し、住民自治の活動状況等について研修をしました。

◎岡山市連合町内会
新春互礼会・市政報告会

(平成16年1月9日)

ピュアリティまきびに於いて萩原市長、垣下市議会議長、楠木副議長、菱川助役、井口助役、高田収入役等と会員76名が出席し兼松会長があいさつを述べ、受賞報告、花束の贈呈、市長の市政報告の後、懇談をしました。

◎視察研修の受け入れ

・豊田市区長会

(平成15年11月13日)

・浜松市自治会連合会

(平成15年11月19日)

・西条市連合自治会

(平成15年11月21日)

◎鳥取市自治連合会と姉妹縁組締結

岡山市連合町内会常任理事会構成員で、平成16年2月10日



永年町内会長 表彰状・感謝状贈呈式

・五年以上学区(地区)連合町内会長に鳥取市自治連合会を訪問し、温故知新の観点から岡山藩主池田侯にゆかりのある両地の連合会において姉妹縁組を結んではどうかとの話が持ち上がりました。平成16年2月25日に開催された役員会で姉妹縁組を締結することが決議されました。

◇受賞報告

◇岡山市連合町内会長表彰
(平成15年5月28日)

・十年以上学区(地区)連合町内会長の職にある方:三名

・五年以上学区(地区)連合町内会長の職にあり退任された方:七名

◇永年勤続町内会長知事表彰
(平成15年5月22日)

・岡山市受賞者:十六名

◇地縁による団体功労者総務大臣表彰 (平成15年11月27日)

岡山市連合町内会理事佐藤正信氏(清輝学区連合町内会長)が受賞。

◇岡山市表彰(有功表彰)
(平成15年11月3日)

・兼松久和氏(岡山市連合町内会長)・岩田章氏(加茂学区連合町内会長)・那須友也氏(平井学区連合町内会長)・難波輝夫氏(前足守学区連合町内会長)・光田武夫氏(前雄神学区連合町内会長)・横山五郎氏(南方玉江町町内会長)の六名が受賞。

◇全国自治会連合会会長表彰
(平成15年11月3日)

・森本享氏(西大寺学区連合町内会長)が受賞。

◇市長表彰(平成15年12月3日)

・十五年以上学区(地区)連合町内会長:二名

・二十年以上単位町内会長:七名

・五年以上退任単位町内会長:五十八名

◇全国自治会連合会特別功労感謝状伝達式 一名が受賞
(平成16年1月9日)

・難波輝夫氏
(前足守学区連合町内会長)

・光田武夫氏
(前雄神学区連合町内会長)

◎岡山市連合町内会役員と岡山市連合婦人会役員との懇談会
(平成15年8月5日)

◎岡山市連合町内会役員と岡山市幹部職員との市政懇談会
(平成15年8月22日)

◎岡山市連合町内会役員と岡山商工会議所正副会頭との懇談会
(平成15年9月29日)

◎第五十八回静岡国体視察
(平成15年10月26日)

◎岡山地域、県知事と町内会長との懇談会(平成16年2月17日)

◎岡山県知事と連合町内会長との懇談会及び懇親会
(平成15年11月から平成16年1月)

岡山市六ブロック毎に市内六箇所にて開催。

各学区連合町内会長が出席。

岡山県自治会連合会の動き

◎岡山県自治会連合会総会
(平成15年7月8日)

岡山農業公園ドイツの森(赤磐郡吉井町)において、二十名出席のもと開催されました。

◇会長表彰

・倉見巖氏(前津山市連合町内会長)

(一)平成14年度事業報告並びに決算の承認。

(二)役員を選任。

(三)会費の改正。

(四)平成15年度事業計画並びに予算の承認。

(五)総務大臣表彰及び全自連会長表彰被表彰者の選考。

◎岡山県知事との懇談会
(平成15年8月8日)

県連正副会長7名が出席し、石井県知事と懇談し、県連組織の拡大への支援、県行政機関の審議会、協議会等への県連役員への参画等の要請をしました。

◎岡山県自治会連合会
加入促進活動の動き

・7月 加茂川町、賀陽町を訪問。

・9月 備前市を訪問。

・12月 瀬戸町、熊山町、山陽町を訪問。

◎全国自治会連合会東京大会への参加 (平成15年11月3日)

東京都庁において開催され、全国の三十道府県から約四百名が参加し、表彰式、講演会、情報交換等実り多い大会となりました。

◎永年勤続町内会長・区長等岡山県知事表彰式(県庁)
(平成15年5月22日)

兼松会長が来賓として出席。

◎全国自治会連合会中四国地区連絡協議会総会(松江市)
(平成16年2月18日)

兼松会長が出席。

◎岡山県国体・障害者スポーツ大会局訪問(丸の内会館)局長・総務企画課長と兼松会長が懇談。
(平成16年3月1日)

◎社会福祉法人・岡山県社会福祉協議会事務局長と兼松会長が懇談。(県総合福祉会館)
(平成16年3月3日)

◎社会福祉法人・岡山県共同募

金会事務局長と兼松会長が懇談。
(県総合福祉会館)

(平成16年3月3日)

全国自治会 連合会の動き

◎総務大臣との懇談

平成15年6月19日総務省において、片山総務大臣と全国自治会連合会正副会長並びに常任理事が未加入県に対する加入促進活動への支援、大臣表彰枠の拡大等について要請しました。

平成16年1月15日総務省において、麻生総務大臣及び香山総務事務次官と全国自治会連合会正副会長とが栄典制度等について懇談しました。

◎加入促進活動の動き

兼松会長自ら、組織の拡大のため、次のとおり訪問しました。

・7月 唐津市連合駐在員会、福岡市東区自治連合連絡協議会、福岡市博多区自治連合会長連絡協議会訪問。

・10月 山形市広報委員長連絡協議会、三条市訪問。



麻生総務大臣との懇談(総務大臣室)

(平成15年5月26日)
◎仙台市連合町内会長と懇談(仙台市)

平成16年度全国大会開催の要請のため、兼松会長が訪問。

(平成15年6月1日)

◎総務大臣表彰被表彰者選考委員会及び全国自治会連合会会長表彰被表彰者選考委員会(東京都)

(平成15年8月23日)

◎理事会(総会)平成15年6月・10月、常任理事会平成15年6月・10月(東京都)

◎埼玉県自治会連合会長を兼松会長が訪問。(熊谷市)

(平成15年8月24日)

◎NPO法人日本防災士機構事務理事と兼松会長が懇談。(東京都)

(平成15年11月4日)

◎全国自治会連合会中部地区自治会連絡協議会総会に來賓として兼松会長が出席。(静岡市)

(平成15年11月12日)

◎総務大臣表彰式に兼松会長が來賓として出席。(東京都)

(平成15年11月27日)

◎総務省行政課随時訪問。

県南政令市構想について

岡山市連合町内会

会長 兼松 久和

玉野市が合併特例法期限内の合併を断念したこと、四市町で描いてきた政令市構想は頓挫した。地方自治の究極の制度である政令指定都市へ向けての枠組みを再構築し将来の道州制度の州都を視野に入れた取り組みをしたいものだ。

静岡・清水の合併で人口七十万となり数字が先行しているが地方自治法では政令指定都市とは人口五十万以上の市と規定されている。国の示した市町村合併支援プランでは、「大規模な市町村合併が行なわれ且つ、合併関係市町村及び関係都道府県の要望がある場合には、政令市の弾力的な指定を検討する」とある。

従って向後、岡山市の定住人口の増加も見込まれるので岡山県との連携を更に深め国に粘り強く働き掛けて行きたいものである。

お知らせ

平成16年度定期総会を平成16年6月2日(水曜日)に「ピュアリテイまきび」において、開催を予定しておりますのでお知らせいたします。

おかやま連町だより

第六号の編集にあたって

備前平野に春をよぶ、西大寺はだかまつり、も終わり、桜の花もほころび始めました。

この度の連町だよりの編集には各方面の方々のご協力を賜り内容もいくぶん充実した編集ができ、進歩があつたと思います。表紙の写真なども従来より変わり、今後も我がまち岡山を代表する催しをテーマにして県内外にも、おおいにPRできるものを取りあげていきたいと思います。この度ご投稿等ご協力頂いた方々に心から、感謝申し上げます。

連町だよりの編集について、皆様方のご意見等をお待ちしております。

編集委員長
塩飽 幹廣